

J T A 西日本初！

全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会  
女子組手無差別級 優勝

上岡紀美子（岡山大学体育会テコンドー部）

2011年11月27日（日）、後樂園ホールにて開催された  
第22回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 女子組手無差別級において  
上岡紀美子（うえおか・きみこ。岡山大学体育会テコンドー部。岡山県出身）が  
全日本F T大会初出場にして初優勝の快挙を成し遂げました。



河明生会長談

「上岡は、J T A 第4世代にあたります。

蹴美力にも秀でており、将来のJ T Aを背負って立つ期待の新星です。

全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会初出場にして初優勝という結果を残しましたが、  
それ相応の努力と練習量をこなした結果と言えるでしょう。

上岡が卓越していたのは、それだけではありません。私が

「君たち二人は、良きライバルとなれ！」

と引き合わせ激励した根塚友香（横浜市立大学体育会テコンドー部主将）同様、

J T Aテコンドーに対する熱意と

多くの人々が大人になると忘れてしまう「少女（少年）のような純粋な心」です。

2年前、第20回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会会場に上岡はありました。

出場する先輩選手を応援するため自主的に東京の後樂園ホールに来ていました。

私が若い頃は、先輩の応援に遠方であってもかけつけるというのは普通のことでしたが、  
平成に入ると、それが普通のことではなくなりました。

日本人の古き良き美風が薄れている証左の一つだと考えています。

私は、実証的な性格を有しており、目に見える行動しか信用しません。  
試合や審査等のJTAのイベントの都度、熱心に参加している上岡の姿を見て  
「ああ、この子（上岡）はものになるかも知れない」  
と期待しておりましたので、自分の目に狂いはなかったと観じています。

過去、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の女子組手無差別級において  
神奈川大学体育会テコンドー部出身者で、卒業後も東京城南TC入会経験をもつ女子選手が  
地方クラブに移籍し優勝したことはあります。  
しかし、純粋な意味で箱根以西のJTA加盟クラブ所属の選手が全日本FT大会の組手無差別級  
において優勝したのは上岡が初めてと言えるでしょう

もっとも上岡には「山」があります。それは松兼ひとみ（東京港TC）です。  
松兼に勝たずして真の王者とは言えませんので、第23回全日本FT大会において松兼と対決して  
勝利し2連覇を果たせるよう精進しなければなりません。

最後に、第4世代の上岡を育ててくれた二人の指導者、師範代・妹尾将吾と岡大監督・霜倉亮に  
謝意を表します。人を創る、これもJTAの使命です」